

澄んだ冬空を彩る大輪の花

やいた花火大会 2025

12/13
開催

秋から冬へ、開催の変更を余儀なくされながらも実現した「やいた花火大会 2025」。会場となった城の湯やすらぎの里には、地元企業の屋台やキッチンカーが集まり、多くの人でにぎわいました。打ち上げ前には、サンタクロースからのお菓子まきなども行われ、参加した子どもたちは、寒さに負けない元気な笑顔で盛り上がりました。



企画・運営に尽力した
やいた花火大会実行委員会の皆さん、
協賛いただいた個人・事業所などの皆さん、
安全を確保してくれた
消防署、消防団、警察署の皆さん、
準備・片づけにご協力いただいた
ボランティアの皆さん、
すてきな花火大会をありがとうございました。

苦難を乗り越え創り上げたこのにぎわいこそが、
「矢板の力」。
冬空に咲く大輪の花を見上げ、
皆さんと共に描く矢板の未来に想いを寄せ、
胸が熱くなりました。
矢板市、大好きです！
引き続きよろしくお願いします。

矢板市長 森島 武芳

「矢板ダンス発表会」令和8年2月22日(日)13:30開演入場無料 会場:矢板中央高校体育館

主催:矢板セントラルスポーツクラブ 0287-47-5612

ACTIVE SCHOOL YATTA

ダンスが好きな人、見に来てね

ひろまの整骨院 HIROMANO SEIKOTSUIN

HP さくら市 ひろまの整骨院 検索 ← LINE予約はこちら

050-8887-2312

〒329-1311 さくら市氏家2532-7



読書の楽しさを未来へ 森様ご夫妻から学校電子図書へ寄附

12月16日市役所で寄附贈呈式が行われ、森様ご夫妻より学校電子図書の購入費として50万円の寄附をいただきました。今年で5年連続の寄附となります。購入された電子図書は、学校電子図書館ともなりライブラリー内「もりもりボックス」コーナーで紹介され、児童生徒の読書活動に活用されます。森様は「地域の子どものために、毎年継続していけるようがんばりたい」と話しました。市長からご夫妻へ感謝状が贈られました。



▲（左から）ともなライブラリー館長 ともなりくん、森島市長、森 珠江様、森 純一様

将来の夢を見つけよう！ 子どもたちが、ワクワクお仕事体験

12月20日文化スポーツ複合施設で、小学生以下の子どもたちを対象に、やいたお仕事体験フェスが開催されました。会場内では獣医・花屋・電気工事・建築・消防など、さまざまなお仕事体験のほか、ティラノサウルスレースなどのイベントも行われ、約1,000人の来場者でにぎわいました。当日の運営には、たくさんの中高生がボランティアスタッフとして参加し、中高生にとっても職業体験や多世代交流の機会になりました。



ともなリサンタがサプライズ登場 乙畑ひまわりスクール、恒例のクリスマス会

12月24日、地域のボランティアが集い放課後に子どもの見守り活動をしている乙畑ひまわりスクールで、毎年恒例のクリスマス会が行われました。当日は、日頃お世話になっている学校の先生方をご招待し、歌の披露やお買い物体験イベントなどが行われました。今年はサプライズゲストに、ともなりくんが登場。サンタ姿のともなりくんに、大人も子どももたくさんの笑顔を見せてくれました。



悲願の初優勝！ 矢板 S C、下野杯を制す

12月21日フードリエサッカーフィールド青木で、第56回下野新聞社杯中学生サッカー大会の決勝戦が行われました。連覇を狙う強豪・栃木 SC U-14 を相手に、矢板 SC は粘り強く戦い抜き、試合は PK 戦へ。緊張感あふれる攻防の末、矢板 SC が勝利をつかみ取り、チーム史上初となる下野杯優勝を成し遂げました。



相手は、パスワークがうまくて、ピンチの場面もたくさんあったけど、全員で守り切ったことが勝利につながったと思う。

DF 半田 束紗さん



フィジカルが強い選手が揃っていて、苦戦したけど、攻略がうまくいった。みんなで勝ち取った勝利。

DF 土谷 斗真さん



これからも自分たちが結果を残すことで、後輩たちにレベルの高いサッカーができる環境を残していきたい。

MF 滝 興絆さん



県内初の快挙！ 矢板高校がお米甲子園で日本一

全国の農業高校が競う「お米甲子園」で、矢板高校が悲願の最高金賞に輝きました。暑さに強い品種「びかまる」に初挑戦した作物専攻メンバーは、種子が発育する環境管理を重視。登熟期の暑さを避けるため田植えの時期をずらしたほか、苗の成長に合わせた追肥を行うなど、細やかな工夫を重ねた結果、甘みの強さや香りなどが高く評価され、日本一の称号を獲得しました。生徒たちは「びっくりしたけどうれしかった」「今日までの礎を築いてくれた先輩方のおかげ」など、喜びと感謝の言葉を述べました。



▲担当教員と作物専攻メンバーの皆さん

声援に包まれて走り初め 第3回新春矢板たかはらマラソン大会

1月17日矢板運動公園周辺で、第3回新春矢板たかはらマラソン大会が開催されました。回を重ねるごとに注目が高まり、今年は県内外から約380人の選手が新春の一步を踏み出しました。当日は天候にも恵まれ、青空の下、高原山を望みながら走ることができ、沿道からの温かな声援もまた、大会を盛り上げました。

参加者は「最後の坂が苦しかったけど、完走できてうれしい。また来年も参加したい」と笑顔で話しました。

